

「地域金融推進レポート'19」のポイント

資料(1)- ③

(頁は「地域金融推進レポート'19」掲載ページ)

「地域金融推進レポート」(旧リレバン・レポート)の概要

県が、毎年、県内中小企業2,500社にアンケート調査を実施し、調査結果による地域密着型金融推進の取組状況の現状把握と評価を目的としている。(平成20年度から実施、今回12回目)

ポイント1

メインバンクに
対する評価・中
小企業の現状
⇒ 2頁~10頁

- 金融機関(メインバンク)に対する中小企業の総合満足度は67.5点(昨年度67.8点)。
- 経営支援に関する個別項目別満足度をライフステージ別に見ると、創業期の企業の満足度が比較的高い。
- 融資又は条件変更の謝絶経験があると回答した中小企業の割合は5.7%(昨年度4.7%)。

- ・ 過去5年間の総合満足度(67.6点~69.8点)と比較すると横ばい傾向。
- ・ ライフステージ別の経営支援に関する個別項目別満足度では、「創業期」の企業の満足度が、「成長・安定期」、「経営改善・抜本再生期」の企業に比べて高く、創業期の企業に対し、金融機関が経営支援に積極的に取り組んでいることが窺える。
- ・ 融資の謝絶経験割合は昨年度より上昇したが、調査開始以降で2番目に低い水準となっており、地域密着型金融が一定程度進展し、中小企業金融の円滑化が図られていることが窺える。

ポイント2

相互理解への
取組状況
⇒ 11頁
~17頁

- 金融機関(メインバンク)に情報提供(決算の概要、業務の状況、将来見通し、業界動向等)していると回答した企業は昨年度より上昇。(62.0%→66.2%)
- 試算表、資金繰り表、事業計画を作成していると回答した中小企業の割合は、昨年度より上昇。
- 何らかの情報提供を行っている中小企業の総合満足度が比較的高い。

- ・ 試算表68.7%(昨年度より0.3点上昇)、資金繰り表35.9%(昨年度より1.6点上昇)、事業計画24.9%(昨年度より1.3点上昇)。
- ・ メインバンクに何らかの情報提供を行っていると回答した中小企業の総合満足度は70.7点~74.5点。(情報提供していない: 62.2点)
- ・ メインバンクへの情報提供や試算表等の作成割合が上昇しており、中小企業と金融機関とのコミュニケーションの深化が一定程度進展していることが窺える。

ポイント3

事業承継につ
いて
⇒ 18頁
~22頁

- 法人代表者又は事業者の年齢構成は、60歳以上が59.7%となっている。
- 事業承継について金融機関(メインバンク)に何らかの支援を期待する企業は約50%。期待する支援内容としては、「補助金の紹介」、「進め方に対するアドバイス」、「融資」の順に多かった。

- ・ 60歳代が32.6%と最も多く、次に70歳代22.6%、50歳代22.3%となっている。
- ・ 事業承継問題についての問題意識を喚起していくため、引き続き関係機関が取組を継続するとともに、支援を必要とする中小企業者に対し、連携して適切な支援を行っていく必要がある。

提言

理解の深化による相互利益関係の構築へ

⇒ 23頁

- ・ 現状: 地域密着型金融は引き続き一定程度進展も取組が不十分な項目がある。
- ・ 未来: 相互理解の深化により、ライフステージに応じた適切な経営支援が実施され、地域産業の活性化が図られる。